



元気なときこそ がん検診

がんは、一生のうち2人に1人がかかるといわれる身近な病気です。がんは早期に見ると治る可能性が高まります。元気で症状がないときこそ、定期的ながん検診を受けましょう。

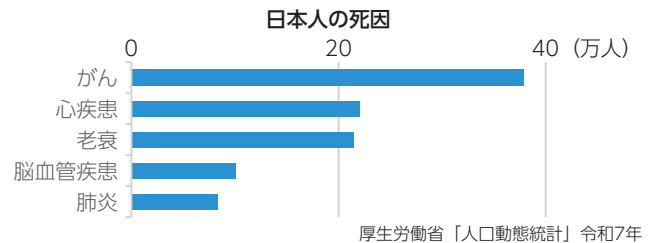
問 健康づくり推進課／Tel674-8800 **ID** 005457



あなたのなりやすいがんをチェック

令和7年にながんで亡くなった人は全国で378,812人で死亡総数の約1/4を占めています。45年間連続で死因の第1位になっています（右グラフ）。

性別や年齢によって、なりやすいがんは異なります。市のがん検診は、り患率が高くなる年代を対象に行っています。



無料でがん検診が受けられます

早期のがんは自覚症状がほとんどないため、症状がなくても定期的に検診を受診し、早期発見・治療することが大切です。治療技術の進歩により、早期であれば治るがんも増えています。

市では、対象年齢の人にがん検診を無料で実施していますので、ぜひ受診しましょう。精密検査が必要と診断されたら、放置せずに必ず医療機関で診療を受けましょう。

申込 直接、実施医療機関へ ※集団検診は42ページへ

検診名	対象	内容
肺がん	40歳以上	胸部エックス線、喀痰（かくたん） ※喀痰は該当者だけ
胃がん	50歳以上★	胃部エックス線（バリウム）か胃内視鏡（胃カメラ、個別検診だけ）
大腸がん	40歳以上	便潜血検査（2日法）
子宮頸がん	20歳以上の女性★	視診、内診、細胞診
乳がん	30歳以上の女性★	超音波（30～39歳）マンモグラフィ（40歳以上）

★は前年度未受診者

患者の多いがん（性別・年齢別、令和3年）

男性	女性
40代 第1位 大腸がん 第2位 肺がん	20代 第1位 子宮頸がん
50代 第1位 大腸がん 第2位 肺がん 第3位 胃がん	30・40代 第1位 乳がん 第2位 子宮頸がん 第3位 大腸がん 第4位 肺がん
60代以上 第1位 肺がん 第2位 大腸がん 第3位 胃がん	50代 第1位 乳がん 第2位 大腸がん 第3位 肺がん 第4位 子宮頸がん 第5位 胃がん

市が検診を実施しているがんを患者が多い順に並べてみました



厚生労働省「全国がん登録罹患率報告（令和3年）」を加工して作成

予防接種費用の一部を助成 インフルエンザ・新型コロナ

インフルエンザ・新型コロナの予防接種費用を助成します。接種を希望する人は、かかりつけ医に相談の上、市ホームページなどで配布している一覧の委託医療機関に直接予約してください。

対象 次のいずれかの市民

- ①接種日時点で65歳以上
- ②接種日時点で60～64歳で心臓、腎臓、呼吸器、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能のいずれかの障がいがあり、身体障がい者手帳1級相当

期間 10/1(木)～来年1/31(日) **場所** 委託医療機関

問合 保健予防課／Tel661-9332

インフルエンザ **ID** 106092 自己負担額1,500円

新型コロナ **ID** 129853 自己負担額8,000円

※いずれも市民税非課税世帯などには無料制度あり（要事前申請）

冬は特に注意

ID 098579

ノロウイルスなどの感染性胃腸炎

感染性胃腸炎はノロウイルスによる感染が多く、1年を通して発生していますが、特に冬季に流行します。全ての年齢で発症しますが、特に乳児や高齢者、抵抗力の弱い人は重症化する恐れがあります。1・2日の潜伏期間後に嘔吐（おうと）や下痢、腹痛などの症状が1～3日続きます。下記のポイントに注意して、感染を防ぎましょう。

問合 保健予防課／Tel661-9332

予防のポイント

- ・調理や食事前、トイレの後には必ず石けんで手を洗う
- ・調理器具の消毒や洗浄、食品の加熱はしっかりと
- ・症状のある人の嘔吐物や便を処理するとき
は、「すぐに拭き取り、乾燥させない」
「しっかり消毒する」「十分に手洗いをする」の3原則を守る





若者に広がるオーバードーズ

ID 102811

市販のかぜ薬やせき止め薬などを、決められた量を超えてたくさん飲む、いわゆる「オーバードーズ」が若者を中心に広がっています。

問合 健康医療政策課／Tel661-9330

中学生の約55人に1人が経験

厚生労働省の調査※では、中学生の約55人に1人が過去1年以内に市販薬の乱用経験があると示されています。違法でない市販薬であっても、誤った使い方をすると、意識障がいや呼吸障がいなど死に直結する重大な中毒を起こすことがあります。危険な飲み方は絶対にしないようにしてください。

※飲酒・喫煙・薬物乱用についての全国中学生意識・実態調査（2024）

生きづらさや孤独感が背景

オーバードーズの経験者の多くは、生きづらさや孤独感があり、つらい気持ちを紛らすために使用しているという実態があります。

悩んだときは1人で抱え込まず、身近な人や専門の相談窓口に話してみてください。

こころの不調に関する相談

- 市こころの健康相談 Tel661-9332
- 府こころの電話相談
Tel06-6607-8814 月・火・木・金曜9:30～17:00
(祝日・年末年始除く)
- 生きづらびっと (LINE、ウェブ、Facebook)
8:00～22:30 (月・金曜だけ6:00～。
受け付けは22:00まで)



骨髄ドナー登録にご協力を

ID 010740

移植医療を必要とする人にとって、ドナー（骨髄などの提供者）登録は大きな希望となります。

1人でも多くの患者さんを救うためには、1人でも多くのドナー登録が必要ですが、特に若い世代の登録者が少ない状況です。皆さんのご協力をお願いします。

問合 健康医療政策課／Tel661-9330

〒569-0052城東町5-1

ドナー登録の条件

以下の全てを満たす人

- ・骨髄・末梢血幹細胞の提供の内容を十分に理解している
- ・健康状態が良好な18～54歳
- ・体重が男性45kg以上、女性40kg以上



骨髄の提供者などへ助成金を交付

市では、ドナーが骨髄などを提供しやすい環境を整え、骨髄などの移植やドナー登録の推進に貢献するため、ドナーやドナーの雇用者を支援する制度を実施しています。

申込 随時 HP 窓 郵 で

① ドナー

対象 骨髄バンクを介して骨髄などを提供した市民 など

助成 通入院などの日数に応じ20,000円/日（上限7日）

② ①の雇用者

対象 ドナーの通入院などのために有給休暇を与えた市内に事業所を有する事業者 など

助成 有給休暇の付与日数に応じ10,000円/日（上限7日）

健診・検診

ID 032781

問合 健康づくり推進課／Tel674-8800、Fax674-1551

	日時・会場	申込方法
特定健診(9:30～11:00) 国	10/21(水)今城塚公民館・29(木)柳川コミュニティセンター、11/11(水)三箇牧公民館	不要 (要受診券・マイナ保険証など)
オプション	[単独受診可] 肺がん検診、骨の健康度測定(骨測定) [単独受診不可] ビロリ菌検査、肝炎ウイルス検診(B・C型)、前立腺(PSA)検査	当日
まとめて健診(午前) 国	12/7(月)・24(木) [必須項目] 特定健診 [選択項目] 肺がん、胃がん、大腸がん、ビロリ菌、肝炎、前立腺、骨測定	随時、HP 窓 C
まとめて健診+ (プラス) 国 ～レディースDay～(午前)	12/8(火) [必須項目] 特定健診、子宮頸がん、乳がん [選択項目] 肺がん、大腸がん、ビロリ菌、肝炎、骨測定	随時、HP 窓 C
すこやかドック(午前)	12/3(木) [必須項目] 肺がん、胃がん、大腸がんのうち少なくとも1つ [選択項目] 骨測定	随時、HP 窓 C
レディースドック(午前)	12/22(火)★ [必須項目] 子宮頸がん、乳がん ★は保育あり [選択項目] 肺がん、胃がん、大腸がん、骨測定	随時、HP 窓 C (保育は C)
子宮頸・乳・大腸がん検診(午後)	12/1(火)★・17(木) [必須項目] 子宮頸がん、乳がんのうち少なくとも1つ ★は保育あり [選択項目] 大腸がん、骨測定	随時、HP 窓 C (保育は C)
健康相談会(結果説明+個別相談) (14:00～15:30)	11/26(木) 相談員:医師、保健師、管理栄養士、薬剤師	随時、HP 窓 C F (基本事項と生年月日記入)
対象	[特定健診] 今年度40～74歳(75歳の誕生日の前日まで)で市国保被保険者に限る(国の健診が対象) ※特定健診以外は市民だけ [がん検診] 肺・大腸=40歳以上、胃=50歳以上、子宮頸=20歳以上女性、乳=30歳以上女性、まとめて健診=40歳以上、 まとめて健診+ (プラス)=40歳以上女性、レディースドック=30歳以上女性 ※胃・子宮頸・乳は前年度未受診者 [その他] ビロリ菌=20～49歳(500円)、肝炎=今年度40歳以上(B・C型各500円)、前立腺=50～89歳男性、骨測定=40歳以上(500円) ※ビロリ菌・肝炎は過去未受診者	
備考	日時は「健康だより」「特定健診のご案内」にも掲載▷会場の記載がないものは保健センター▷申込順▷費用記載なしは無料。ビロリ菌・肝炎・骨測定にも無料制度あり。対象は非課税・生活保護受給世帯(要事前申請)、70歳以上または後期高齢者医療制度に加入している市民▷保健センターの胃がん検診はバリウムだけ▷市内の実施医療機関でも受診可(骨測定除く)	

※申込手段や基本事項の略は26ページ参照